

プレスリリース

山口情報芸術センター(YCAM) presents

フィリップ・ジャンティ・カンパニー 新作家日公演

「バニッシング・ポイント」 (2003年初演)

—<夢の設計士>フィリップ・ジャンティと共にあなたも心の旅へ、出発しませんか?—



All photos by jyoji ide

このたび、山口情報芸術センター（YCAM）では、2004年11月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり、フィリップ・ジャンティ新作公演「バニッシング・ポイント」を行います。これは、2003年スイス ローザンヌで発表された新作で、ル・モンドをはじめフランス各紙、マスコミにて絶賛された作品です。

■ 世界中を魅了し続けるフィリップ・ジャンティ・カンパニーが

いよいよ山口に登場！

フィリップ・ジャンティの作品は、コミカルなダンス、マイム、そして不思議な魅力を持つ人形を使った、エスプリとユーモアにあふれたパフォーマンスで知られています。

物事の核心へと迫る奥深いストーリーをリズムカルに展開していく作風は、子供に、そしてもちろん、大人にも幅広く愛され、国内外で高く評価されています。

フィリップ・ジャンティの日本での活動は目覚ましく、1988年に「いのちのパレード」で初来日して以来、「漂流」「忘れな草」「勤かぬ旅人」「迷宮」「密航者」「ジクムント・フォーリーズ」と10回に及ぶ公演を行い、そのく魔法>のような舞台で日本でも多くの観客を魅了してきました。新作「バニッシング・ポイント」を携えてのジャンティの来日は、今回で11回目になります。

■ <消失点>の先にあるものは？――

主人公が5人の宇宙飛行士を伴って、深層心理を巡る旅へ観客を誘います。

今回の作品タイトルは「バニッシング・ポイント」。英語で遠近法の線を延ばしていった先にある<消失点>を意味します。舞台の主人公は5人の宇宙飛行士と共に、さらにその奥へと旅を試みます。それは登場人物の、そして観客自身の、心の奥底への探求なのです。消失点の先ではなにもかも消えて、私さえもいなくなってしまうのでしょうか？ その先には、何があるのでしょうか？

「そこでは、めまい、袋小路、無限小から無限大へ、あなたの夢から彼らの悪夢へ、ありえない回帰が次々と訪れます。崩壊からうねりへと移り、追憶の海を渡ります。」

（フィリップ・ジャンティ 演出ノートより）

スイミングコーチ、哲学者、人食い鬼、記憶をなくした踊り子と様々な人たちの登場で、舞台は次々と展開していきます。そして、夢と現実を交錯する彼らの旅を見ているうちに、観客はいつの間にか自分自身を見つめていることに気づいていくのです。



本公演では、親子での舞台鑑賞もお薦めしています。小中学生の特別料金を設定しましたので、ひとつの舞台を通して大人と子供が様々な角度から話をするきっかけのひとつになればと思います。

どうぞこの機会に、フィリップ・ジャンティ・カンパニーの「バニッシング・ポイント」のご紹介を貴紙・誌にてご検討いただけますようお願い申し上げます。

*** 本作品に向けて…**

宮本亜門（演出家）

私にいつも感嘆のため息をもらしてくれるフィリップ・ジャンティ。見るたびに、人間の創造力の無限さを思い出させる。その軽々と虚と実を超えていくイメージのキャバレーは、我々見たかったもの、見たくなかったものが描かれている。

首藤康之（バレエダンサー）

まさにダンスだ。

日常の人々のふるまいすら「ダンス」であることを実感させてくれるすてきな振付師。それは人にとどまらず、人形にも息吹を吹き込み、そして人間以上の生を感じさせてくれるジャンティに僕はいつも驚愕してしまう。

高泉淳子（女優）

箱の中の小宇宙に引き込まれるかのように、フィリップ・ジャンティの世界は頭の中を巡っていく。それは今まで見たこともない風景なのに、妙な親しさを感じる。

なんだかよく知っているのだ。

そしてそれが自分の奥底にある記憶とつながっていると知ったとき、途方もなくうれしくて、心地よく悲しい。

*** 「パニッシング・ポイント（原題 Ligne de fuite）」 劇評より**

見逃すなかれ！

フィリップ・ジャンティ・カンパニーの芝居、それはささやかな喜びや心の機微が濃縮されたエキスだ。……《LIGNE DE FUITE》は語るものではない、観るものだ。さあ、いち早く劇場へ！

PARISCOPE（パリスコープ） 2003年10月22日付より

神秘の世界へ我々を導く、フィリップ・ジャンティは正真正銘の魔術師、そして夢の設計士

スペクタクルに次ぐスペクタクルで、フィリップ・ジャンティは我々を魔法の世界へと導く。……彼がパンドラの箱を開けたら最後、観客は魅了される。本作品で、夢の設計士・フィリップ・ジャンティは金字塔を打ち立てた。

FIGARO SCOPE（フィガロスコープ）2003年10月8-14日号より

素晴らしい！

Le Parisien（ル・パリジャン）2003年10月24日号より

驚愕の世界！

我々はいったいどこにいるのだ？ 夢の国か、無意識の国か、ファンタジーの国か、はたまた恐怖と欲望の国か。その中で人は己れの分身を見、同時に男でも女でも在り得、鏡を通り抜け、現実を忘れ去ることができる。詩と魔法の国。これが、人形遣いであり、振付師であり、シュールレアリスティックな夢幻劇を生み出す型破りのクリエイター、フィリップ・ジャンティの世界なのである我々観客は息つくひまもないということだ。まだ一度も観たことがないという方、お子様連れで劇場にお急ぎあれ！

Les Echos（レゼコー）紙 2003年10月13日号より

公演名：「**バニッシング・ポイント**」(英字：Vanishing Point)

出演：フィリップ・ジャンティ・カンパニー

作・演出：フィリップ・ジャンティ 共同演出：メアリー・アンダーウッド

音楽：ルネ・オーブリー

公演日時：2004年11月20日(土)19:00開演 / 21日(日)14:00開演

会場：山口情報芸術センター スタジオA

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 TEL.083-901-2222

料 金：一般 5,000円、**小・中学生 500円 ※緊急決定特別価格!**(保護者同伴に限る)

any 会員等割引 4,000円、学生B席 2,000円 ※チケット発売中!

チケット取扱：

山口情報芸術センター チケット予約電話(10:00~19:00 火曜日除く)

TEL:083-920-6111

ローソンチケット

予約電話 TEL:0570-063-006 Lコード:65190

主催：財団法人山口市文化振興財団

招聘・企画制作：株式会社パルコ

一般のお問い合わせ：山口情報芸術センター TEL:083-901-2222

その他のお問い合わせ：山口情報芸術センター TEL:083-901-2211

よつもとともこ
制作：岸正人、四元朝子 広報：小滝友見子

* フィリップ・ジャンティ

フランス・サヴォア地方出身。

12歳ではじめて人形をつくり、以来、休むことなく創作活動を続けている。パリのグラフィック・アートスクールを経て、20歳の時に友人と手作りのマリオネットを車に乗せて4大陸47カ国を訪問。世界の人形劇をフィルムに納める。その後、フランスに戻り、旅で得た数々のイメージをもとに、人間と人形が共存するジャンティ独特のスタイルを確立した。カジノ・ド・パリのローラン・プティ&ジジ・ジャンメールのレビューに登場し、これを機にショー・ビジネス界で認められるようになる。現在は、国内外で広く活動を展開する。

また、彼の主宰するフィリップ・ジャンティ・カンパニーは、パリ市立劇場を拠点に活動し、2~3年ごとに新作を発表。新作ごとに世界中から出演者を募集し、ワークショップを経てキャストを決定するというユニークなスタイルで知られ、国籍も出身も多種多様なメンバーを見ても、ジャンティの持つ世界観の広さを感じることができる。

フィリップ・ジャンティ・カンパニー

「バニッシング・ポイント」日本ツアー スケジュール

[東京公演]

公演期間：2004年11月9日（火）～11月14日（日）

公演会場：ル テアトル銀座

お問合せ：パルコ劇場 03-3477-5858

パルコ劇場ホームページ <http://www.parco-city.co.jp/play/>

[名古屋公演]

公演日程：11月18日（木）

公演会場：愛知厚生年金会館

主催：キョードー東海

お問い合わせ：キョードー東海 TEL. 052-972-7466

[山口公演]

公演日程：11月20日（土）--21日（日）

公演会場：山口情報芸術センター

主催：山口情報芸術センター

お問い合わせ：山口情報芸術センター TEL. 083-901-2222

[大阪公演]

公演日程：11月23日（祝・火）

公演会場：シアター・ドラマシティ

主催：関西テレビ放送、キョードー大阪

お問い合わせ：キョードー大阪 TEL. 06-6233-8888

[松本公演]

公演日程：11月26日（金）

公演会場：まつもと市民芸術館

主催：キョードー北陸

お問い合わせ：キョードー北陸チケットセンター TEL. 025-245-5100

[新潟公演]

公演日程：11月28日（日）

公演会場：リゅーとぴあ新潟

主催：キョードー北陸

お問い合わせ：キョードー北陸チケットセンター TEL. 025-245-5100